

2017年 9月14日

鹿児島大学病院 放射線科で

骨盤部の放射線治療を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

【研究課題名】

骨盤部の高精度放射線治療における set-up error の検討

【研究機関】

鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門

【研究責任者】

鹿児島大学病院 臨床技術部放射線部門

診療放射線技師長 西郷康正

【研究の目的】

放射線治療における、照射範囲を設定する際に日本放射線腫瘍学会が出版している放射線治療ガイドラインの手順に従い病気分類ごとに set-up margin の設定をおこなっている。実際の病変部分の周囲に体の動きを考慮して少しゆとりをもたせた放射線の照射範囲を設定して治療計画を立てます。set-up margin を考慮する error として、照射ごとに発生する inter-fractional set-up error と各照射時間中に発生する intra-fractional set-up error に分けられる。この研究は IGRT (画像誘導放射線治療)と呼ばれるレントゲン画像を使用し、骨照合による位置合わせを行うことで生じる補正值から算出される骨盤部における固定具使用時の set-up error の算出を行い、放射線治療計画ガイドラインと比較を行なうことにより当院の set-up margin の適正值を求めることを目的とした研究です

【研究の方法】

高精度放射線治療において再現性は照射体積に影響を与える重要な項目の

一つである。当院において骨盤部疾患である子宮頸がんの術後や前立腺がんの術後の患者に Body シェルを使用するようになった。骨盤部において Body シェルを使用し強度変調回転照射 VMAT (Volumetric Modulated Arc Therapy) を行なっているが、適正な set-up margin の設定は重要な指標である。今回、IGRT (画像誘導放射線治療) 時に使用する ExacTrac システムを利用し set-up error として照射ごとに発生する inter-fractional set-up error と各照射時間中に発生する intra-fractional set-up error を算出し、適正な set-up margin を求めることを検討とした

【対象となる患者さん】

2016 年 8 月 1 日から 2017 年 10 月 31 日までに、鹿児島大学病院放射線治療室で骨盤部の放射線治療を受けた患者さんを対象にしています。

【試料や診療録（カルテ）から利用する情報】

臨床データとして、ExacTrac システムを利用し骨照合を行なったデータを収集します。

【個人情報の取り扱いについて】

研究で使用する診療情報は、患者さんの氏名や住所など、患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌などで発表することがありますが、その際も患者さんを特定できる情報は使用しません。

【研究の資金源等、関係機関との関係について】

この研究に関する費用は、鹿児島大学病院放射線部の研究費で賄います。また、研究費の一部には企業等からの寄付金が含まれますが、広く学術を振興するものであり、この研究を特定したものではありません。企業等からこの研究の為に寄付および労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 臨床技術部 放射線部門

診療放射線技師長 西郷康正

電話 099-275-5664 FAX 099-275-5662